



## ごあいさつ

東京都知事 小池 百合子

第25回東京都障害者スポーツ大会が、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会と東京都の共催により開催できますことを、とても嬉しく思います。

この大会は「身体」「知的」「精神」の3つの部門で競技を行う、都内最大規模のパラスポーツの祭典です。障害のある人がスポーツを通じて体力の維持増進、社会への参加、相互交流を図ることで、自立の促進とスポーツの振興に寄与することを目的としています。

選手の皆様が、大会出場を契機に活躍の場を広げ、また、他の選手と大いに交流し、競技生活をより豊かなものにしていくことを願っています。日頃の練習の成果を遺憾なく発揮して、10月に佐賀県で開催される第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」への出場を目指しましょう。

今年は、パリでパラリンピックが、来年には、いよいよここ東京でデフリンピックが開催されます。世界のトップアスリートがもたらす感動と興奮が、次代を担う子供たちに夢と希望を与えます。多様な人々との交流は、互いの違いを認め尊重しあう社会の礎になることでしょう。

東京都は、このような国際大会で、東京にゆかりのあるアスリートが活躍できるよう、支援を行っています。そして、デフスポーツを含めた幅広いパラスポーツの振興に取り組みます。障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツが日常に溶け込んだ「スポーツフィールド・東京」を実現したいと思います。

本大会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。大会の成功が、パラスポーツの一層の発展につながり、私たちに多くの感動をもたらしてくれることを期待して、ご挨拶といたします。



## ご挨拶

公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会  
会長 延興 桂

第25回東京都障害者スポーツ大会が、関係者の皆様のご協力とご理解のもとで開催されますことに、主催者の一人として心から感謝申し上げます。

本大会は、10月に開催されます第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA 2024」への派遣選手選考会を兼ねております。毎年多数の選手が参加する都内最大規模の障害者スポーツ大会です。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の大会として、感染予防対策を講じつつ、観客を入れて開催いたしました。今大会においては、表彰式におけるプレゼンターからのメダル授与を再開するなど、極力、コロナ前の大会に戻して実施してまいります。選手の皆様におかれましては、日々の練習の成果を存分に発揮していただき、「昨日の自分を超越する」パフォーマンスを見せていただければと存じます。また、この大会を契機に他の選手との交流を深め、スポーツの輪を大きく広げていただければ幸いです。

スポーツは、健康の維持・増進や人生に潤いを与える世界共通の人類の文化です。今年パリでパラリンピックが、来年はここ東京でデフリンピックが開催され、障害者スポーツへの関心を高める絶好の機会となります。当協会は、都内の障害者スポーツ振興の中核組織として、障害のある人が「いつでも どこでも いつまでも ～すすめます！スポーツをもっと身近に～」をスローガンに、障害の有無や種別を問わず誰もがスポーツを楽しむことのできる、スポーツを通じた共生社会の実現に向け、東京都と一体となって引き続き様々な取組を行ってまいります。今後とも変わらぬご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

終わりに、本大会のために多大なご支援をくださいました多くの方々に、心より感謝申し上げますとともに、重ねて選手の皆様のご健闘を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



## ごあいさつ

特別区長会会長

新宿区長 吉住 健一

第25回東京都障害者スポーツ大会の開催を心からお慶び申し上げます。

この大会は、多くの選手が参加する、国内最大規模を誇る「パラスポーツの祭典」であります。今回で第25回目を迎える本大会は、さまざまな障害を乗り越えて活躍されている選手だけでなく、ボランティアの皆さんも含めた多くの関係者が集い、年々大きな輪となっております。

本大会の開会式が東京を代表するスポーツ大会として伝統のある「都民体育大会」と合同で開催されることは、障害のある人となない人がお互いのスポーツ競技への理解をより一層深めることにつながり、すべての人がスポーツのもとで、ひとつの大輪となり発展していく象徴だと思っております。

本年8月28日からはフランスのパリでパラリンピック競技大会が開催されます。この大会のマスコットには、義足をつけたキャラクターが選ばれましたが、多様な人々がお互いの個性や価値観などを認め合う社会を推進するというメッセージが込められています。いまやスポーツは、身体の活動であるだけでなく、他者への相互理解を育み、国際親善に貢献する、世界全体に恩恵をもたらす人類共通の文化であります。

特別区長会は引き続き、パラリンピアン育成やパラスポーツの環境づくりなど、パラスポーツのさらなる普及促進のために取り組むとともに、障害についての理解を推進するために、心のバリアフリーについても全力をあげて取り組んでまいります。

特別区は今後とも、障害のある方々が、住みなれた地域で安心して自分らしく暮らしていくことができるように、パラスポーツの振興を含めた障害者施策の充実に努め、誰もが幸せを実感できる共生の地域社会の実現を目指してまいります。

どうか皆様もスポーツを通して友情と交流を育まれ、連帯と支え合いの輪を地域に広げていただくことをご期待申し上げます。

本大会に向けて鍛錬を積んできた選手、大会運営にあたっているスタッフの皆さん、そして諸団体、ボランティアの皆さんのご努力とご協力に深く敬意を表すとともに、大会の成功と皆さんのご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



## 第25回東京都障害者スポーツ大会開催を祝して

東京都市長会会長

東村山市長 渡部 尚

「第25回東京都障害者スポーツ大会」が多くの皆様のご参加により、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

本大会は、選手の皆様が日頃積み重ねてきた練習の成果を発揮するとともに、競技を通じて多くの人々と交流の輪を広げる大きな機会であります。

例年、多くの選手やボランティアの方々が参加されますが、そうした方々の熱い思いが、大きな交流の輪となり、国内最大規模の大会の開催につながっていると感じております。

大会では、選手の方々が真剣勝負を繰り広げ、その活躍する姿は、多くの人々に感動と勇気を与え、人々の心を揺さぶり、障害者スポーツの魅力をあますことなく伝えてくれるものと思います。

本年は、パリ2024パラリンピックの開催年であり、東京2020パラリンピックで得た経験を元に、パリでも多くの選手の方が活躍されることを期待しております。

また、2025年には、デフリンピックの東京初開催が予定されるなど、大きな国際大会が連続して開催されることとなり、障害者スポーツに対する関心が大きく高まることで、スポーツを通じた社会参加、相互交流がさらに進むとともに、理解増進につながることを確信しております。

東京都市長会といたしましても、活力あふれる共生社会の実現に向けて、障害者福祉のより一層の増進に努めるとともに、障害がある人もない人も共に暮らしやすいまちづくりに向けて、全力で取り組んで参ります。

結びに、本大会を運営されるスタッフ、ボランティアの皆様のご尽力に対し、深く敬意を表しますとともに、選手の皆様のご活躍と本大会の成功を心からお祈りしてご挨拶の言葉といたします。



## ご 挨拶

東京都町村会会長

瑞穂町長 杉 浦 裕 之

第25回東京都障害者スポーツ大会が盛大に開催されることを心からお慶び申し上げます。

令和6年1月1日に能登半島で発生した地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、災害対応にご尽力されている関係者の皆様へ深く敬意を表します。

さて今年は、第17回パラリンピック、第33回オリンピックがフランス・パリで開催されます。先の東京大会と同様に、多くの感動が生まれることでありましょう。

スポーツには人の心を動かす力があり、人々が心豊かに生きていくためには欠かせないもので、アスリートがひたむきに競技に打ち込んでいる姿は、多くの人々に勇気と希望を与えます。中でもハンデキャップを乗り越え、人の持つさまざまな可能性を感じさせてくれるところが障害者スポーツの大きな魅力ではないでしょうか。そこには、人生において立ちはだかる壁に立ち向かう人々の気持ちを奮い立たせてくれる力が確かに存在します。

東京都町村会といたしましても、障害者スポーツのより一層の振興に努めるとともに、障害のある方々が、住み慣れた地域で安心して生活できる地域社会を確立するなど、誰もが幸せを実感できる共生社会の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

第25回東京都障害者スポーツ大会は、第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」の代表選手選考会を兼ねて開催されます。選手の皆さんが日頃の努力を礎にしてベストを尽くす姿を通じて、障害者スポーツの魅力が西多摩地域や島しょ地域を含む都内全域に伝わっていく大会になるものと確信いたしております。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた多くの関係者やボランティアの方々に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様の益々のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。



## 第25回東京都障害者スポーツ大会に寄せて

公益社団法人東京都身体障害者団体連合会  
会 長 三 宅 裕

「第25回東京都障害者スポーツ大会」が多くの方々の参加を得て、開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

3.11東日本大震災から十三年、そして、本年元日に起きた能登半島地震などの自然災害や、いまだに収まらない新型コロナ等のウイルスとの共存、ガザ地区での問題等で胸を痛めることが多く、日々の何気ない日常生活の大切さが痛感されます。

その中でも昨年のWBCを応援し、興奮したように本年もパリオリンピック・パラリンピックが開催されます。選手の活躍が今から楽しみです。

直接、スポーツをすることが出来なくとも観戦し応援するのも「スポーツ」のひとつのあり方だと思います。

障害者がスポーツに親しむ原動力は各々ですが、自立と社会参加、共生社会の方向性を国内外に示す重要な意味があると思います。

今大会へ出場される選手の皆様、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、本年10月26日から開催される第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」に東京都代表として出場することを目指して、頑張ってくださいと思います。私達も応援しております。

そして、目標を高く持ち、その先にあるものを目指して、選手として出場することへの希望を繋げてください。

また、東京都障害者総合スポーツセンター並びに東京都多摩障害者スポーツセンターをご活用されて、多くの方々との「ふれあい」を大切に、コミュニケーションを広げてください。

末筆になりますが、本年も大会の準備等に、ご尽力をいただきました大会関係者及びボランティアの皆様にご心より敬意を表し、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会の益々のご発展と大会の成功をお祈り申し上げまして、挨拶といたします。



## 第25回東京都障害者スポーツ大会に寄せて

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会  
理事長 立原 麻里子

「第25回東京都障害者スポーツ大会」が、多くの方々のご参加と、関係者の皆様のご支援ご協力のもとに、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

選手のみなさんも、コロナ禍を経た今、皆で一堂に会してスポーツを楽しむことや、思い切り体を動かすことができることの喜びを、あらためて感じていらっしゃるのではないかと思います。この大会で日頃の練習の成果を表現するとともに、全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」へ東京都代表として出場することをめざして、思う存分、力を発揮してください。

とはいえ、結果がすべてではありません。がんばって練習してきた日々を思い出し、自分なりにベストを尽くして、この大会を楽しんでほしいと思います。

今年はパリでオリンピック・パラリンピックが開催されます。どちらも、選手として出場できるのはごく一部の人ですが、世界中で観戦する多くの人たちも楽しみにしていますし、応援することによって、ともに戦っている気持ちにもなり、喜びを分かち合うことができます。それと同じように、身近なこの大会でスポーツに一生懸命に取り組んでいるみなさんの姿からも、皆が勇気をもったり感動したりします。選手のみなさんが元気にイキイキと楽しんでいる姿を、皆に見せていただけたらうれしいです。

来年にはデフリンピック東京大会が開催され、障害者スポーツへの関心が高まると期待しています。スポーツの持つ力を通して、障害や障害者への理解が深まり、共生社会の実現に向けた一歩となることを願ってやみません。

結びにあたりまして、この大会を支えてくださっている大会関係者やボランティアのみなさまに心からの感謝を申し上げ、参加される選手のみなさまのご活躍をお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。



## 第25回東京都障害者スポーツ大会

ライオンズクラブ国際協会330-A地区  
ガバナー 阿部 かな子

第25回東京都障害者スポーツ大会が、多くの参加者のもと盛大に開催されますことをライオンズ国際協会330-A地区を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。今回、輝かしい第25回目を迎え、改めまして本大会を支えておられる多くの関係者の皆様に深く敬意を表します。

東京都障害者スポーツ大会には、これまで第1回大会より20年以上に渡り、様々な形で支援をさせていただいています。個別のクラブとしての競技への協賛をはじめ、330-A地区としては特別協賛をしており、特に駒沢オリンピック公園総合運動陸上競技場では、直接選手の方々を応援、表彰する機会をいただいております。

競技に参加される選手の皆様が日頃の練習成果を本大会で十分に発揮できるように応援し、ご家族やボランティアの皆様と一緒に表彰を盛り上げることは、私たちにとって大変誇らしい活動となっております。そして競技に真摯に取り組む選手の皆さんから、いつも大きなエネルギーと喜びをいただくことに感謝いたしております。

いよいよ今年には、パリオリンピック・パラリンピックが開催されますが、ライオンズクラブとして、特にパラリンピックに出場される可能性がある選手への支援も行っているところです。本大会は、第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」への東京都代表の予選選考会を兼ねていると伺っており、次の目標に向かって邁進されることを期待しております。

今後とも、本大会が益々盛んとなり、障害者の方々にスポーツを通じて夢と希望を与え、様々な経験の場となりますよう願っております。また、この大会を通じて、障がいのある方々の社会参加推進と、国民の障がいがある方への理解が深まることを信じております。

結びにあたり、ご家族・介護者・ボランティアの皆様にご感謝申し上げます。本日参加される選手の皆様のご活躍、関係者皆様のご健勝、そして公益社団法人東京都障害者スポーツ協会並びに関係諸団体のさらなるご発展を祈念し、激励の言葉といたします。





## ごあいさつ

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団  
理事長 塩見清仁

第25回東京都障害者スポーツ大会が、多くの関係者の方々の御協力を得て開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会は、本年10月に佐賀県で開催が予定されている、第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」の東京都代表選手選考会を兼ねた都内最大規模の障害者スポーツの祭典で、全国大会出場という大きな目標につながる大会でもあります。また、当事業団が管理運営しております東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場及び東京アクアティクスセンターでも競技が実施されます。皆様が練習の成果を遺憾なく発揮され、熱戦が繰り広げられることを心から楽しみにしています。

さて、いよいよ本年7月にはフランスでパリ2024オリンピック・パラリンピック大会が控えており、また来年は東京2025世界陸上競技選手権大会及び日本初の第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025が開催される予定です。こうしたスポーツ実施気運の高まりと合わせ、本大会の開催を通じて、パラスポーツの競技力向上及び更なる理解・普及促進の契機となることを期待しております。

当事業団は、本大会の成功はもとより、「スポーツフィールド・東京」の実現に向けた様々な取組に積極的に参画して参ります。その取組のひとつとして、都立の特別支援学校を障害者スポーツの拠点として活用する「都立特別支援学校活用促進事業」を今年度も引き続き実施いたします。都民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、これまで以上に障害者スポーツの振興に寄与して参りたいと考えております。

結びに、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会並びに本大会実行委員会の皆様方の御尽力に敬意を表しますとともに、大会の成功と選手の皆さんの御健闘をお祈り申し上げます。



## ごあいさつ

一般財団法人 東京都弘済会  
理事長 細井 優

第25回東京都障害者スポーツ大会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

ご承知のとおり、この大会は、障害のある方々がスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会参加と相互交流の促進並びに都民の障害者に対する理解の増進を図ることで、障害者の自立促進とスポーツ振興に寄与することを目的として開催されています。

来年には、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025の開催が迫っているほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会及び北京2022パラリンピック冬季競技大会によって、障害のある方々のスポーツやアスリートに、日本中から多くの感動と関心が集っています。

第25回東京都障害者スポーツ大会が、平穏で安定的に開催できる状況の下で、選手や関係者の皆さまの日ごろの努力の成果がいかに発揮され、輝かしい結果をあげ、感動を与えていただけることを心から願っております。

一般財団法人東京都弘済会では、障害のある方々などに対する福祉事業等を多数実施しております。障害者のための「ふれあいコンサート」に協賛するとともに、病院、障害者施設等に出向き小編成の音楽演奏会を開催するほか、障害者等の心身の健康増進や地域交流を図るため、障害者施設等で出前演芸会を開催しています。また、在宅介護者交流ツアーなども企画しておりますので、ぜひお越しいただきたいと思っております。

最後に、あらためて、本大会の運営にあたるスタッフの方々、関係団体及びボランティアの皆さまのご尽力に敬意を表するとともに、本大会に参加されるアスリートの皆さまのご健闘を心より祈念しまして、あいさつとさせていただきます。



## ご挨拶

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会  
会長 木村 恵 司

第25回東京都障害者スポーツ大会が多くの皆さまの参加のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

さて、コロナ禍という困難な時期に開催された、「東京2020パラリンピック」、また、車いすテニスの第一人者である国枝慎吾さんの四大大会とパラリンピック優勝などの活躍は、大きな感動をもたらすとともに、勇気や希望、そして応援する我々の間に、連帯感を感じさせてくれました。そして、今年の夏には、パリ2024パラリンピックが、2025年には、100周年の記念大会となるデフアスリートの総合的な国際大会であるデフリンピックが日本で初めて東京で開催されます。これらの祭典を契機に、わが国の障害者スポーツが一層発展していくことが期待されています。そうした中で、東京において開催される障害者スポーツ大会は例年以上に有意義でその後の国際的な障害者スポーツ大会の機運を盛り上げる重要な大会です。今大会において、アスリートの皆さまの日頃の努力が遺憾なく発揮され、そのひたむきな姿が多くの都民の目に焼き付き、共感と感動を呼ぶことを期待しています。

さて、私ども、東京都社会福祉協議会では、現在中期計画を定め、「東京の多様性を生かした地域共生社会づくり」の実現を目指し事業を推進しているところです。コロナ禍以降、地域では、孤独・孤立などの地域課題が、より深刻化しています。地域住民のつながりを取り戻し、障害のある人もない人も共に理解を進めるための方法として、区市町村社会福祉協議会や社会福祉法人による地域住民に対する地域公益活動などにおいて、ボッチャなどのパラスポーツを活用する事例も増えています。地域における共生社会の実現に向けて、多くの関係者が手を携え、協力していくことが求められています。本会においても、関係者の皆さまと連携しながら、障害のある方々の社会参加と地域におけるスポーツ活動を支援していく所存です。

最後になりましたが、あらためて第25回東京都障害者スポーツ大会のご成功を祈念いたしますとともに、参加される選手はもとより大会の実施や運営にかかわる関係者、また、東京都障害者スポーツ協会の皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。